

令和 7 年 第 2 回 臨 時 魚 沼 市 教 育 委 員 会 会 議 録			
会 議 日 程	令 和 7 年 1 0 月 8 日	午 後 1 時 0 0 分	開 会
		午 後 2 時 3 0 分	閉 会
場 所	魚沼市役所 本庁舎304会議室	書 記	森山 玲子
委 員 定 数	5 名 ( 出 席 者 4 名 欠 席 者 1 名 )		
出 席 委 員	教育長職務代理者 星 麻 衣	委 員	浅 井 誠 哉
	委 員 八 木 由 美 子	委 員	桑 原 哲 哉
欠 席 委 員	教 育 長 樋 口 健 一		
説 明 の た め 出 席 し た 者	学校教育課長 岡 部 忍	生涯学習課長	青 柳 洋 介
	子ども課長 浅 井 勝 美	庶務係長	森 山 玲 子

## 会議事項及び議事の経過

### 開会宣言

( 教育長職務代理者 ) これより令和7年第2回魚沼市教育委員会臨時会を開催します。

### 日程第1 会議録署名委員の指名について

( 教育長職務代理者 ) 日程第1、会議録署名委員の指名を行います。

本日の会議録署名委員は、会議規則第23条第3項の規定により  
桑原 哲哉 委員にお願いします。

### 日程第2 協議事項

#### 魚沼市教育大綱（案）について

( 教育長職務代理者 ) 日程第2、協議事項、魚沼市教育大綱（案）について、協議します。  
事務局の説明を求めます。

( 学 校 教 育 課 長 ) 説明いたします。(資料により説明：協議事項、魚沼市教育大綱  
(案)について(説明))

( 学 校 教 育 課 長 ) (資料により説明：協議事項、魚沼市教育大綱(案)について(学校  
教育課分を説明))

( 子 ど も 課 長 ) 説明いたします。(資料により説明：協議事項、魚沼市教育大綱  
(案)について(子ども課分を説明))

( 生 涯 学 習 課 長 ) 説明いたします。(資料により説明：協議事項、魚沼市教育大綱  
(案)について(生涯学習課分を説明))

( 教 育 長 職 務 代 理 者 ) 協議事項①について質疑はありますか。  
では、私からお聞きします。こども家庭センターは2係ということですが、この係について教えてください。

( 子 ど も 課 長 ) 母子保健と、子育て支援センターです。こども家庭センターはこの二つの機能を併せ持つ組織です。乳幼児からの検診等を通じて、療育関係を早期発見していくという目的も含めた組織です。

( 教 育 長 職 務 代 理 者 ) どこにあるのですか。

( 子 ど も 課 長 ) 場所はないのですが、組織として子ども課の中にあります。

- ( 教育長職務代理者 ) 今現在ファミリーサポートセンターを利用されている人はいらっしゃいますか。
- ( 子 ども 課 長 ) ファミリーサポートセンターには、子守りサービスを提供してくれる提供会員と、子どもを預けたい依頼会員がいます。登録している提供会員が現在15名ぐらいで依頼会員とあわせて80名ぐらいだと思います。依頼会員が子どもを預かってもらいたいときに、提供会員のご自宅でお預かりする、もしくは子育て支援センターのぱびぷを使ってお預かりするというパターンでやっており、月5、6件は利用があります。提供会員の实働は5名くらいなので人員不足です。市報にも掲載して、何とか提供会員として子どもを預かってくれる方を増員していこうという取り組みをしています。提供会員になる方には研修等を受けて勉強をしていただきます。
- ( 教育長職務代理者 ) 子どもが病気の時も預かってもらえますか。
- ( 子 ども 課 長 ) 病児保育は小出病院でしています。提供会員に病気の子どもの預けることは難しいですが、例えば、保護者が通院や冠婚葬祭等で、子どもの面倒をみられないときに、一時預かりは保育園でもしているのですが、提供会員に子守りを依頼する等、様々なニーズに対応していけたらと考えております。
- ( 委 員 ) 物価高等生活が苦しくなっています。これからの社会では共働き家庭が前提になってくると、子どもを預けられる受け皿が必ず必要になってくると思います。  
また母子家庭についてですが、適齢期の独身男性がたくさんいるので、まちづくりという観点でも相手が見つければ家族になり、人口増加にも繋がるかもしれないし、家庭も経済的に安定するのではないかと思います。そういった考え方もあると思います。
- ( 教育長職務代理者 ) 共同して子育てをしていくということができれば家族になれますし、まちづくりの観点でも考えていただけたらいいと思います。  
他にいかがでしょうか。  
では、学校教育課にお聞きします。子どもたちが将来の夢や希望を持ってなくなってきているという話ですが、インターネットの繋がりで他者との関わりが薄くなってるということについてはどうですか。
- ( 学 校 教 育 課 長 ) 今の子どもはやる気がない、諦めが早いという話はよく聞いています。オンラインやゲームでは繋がっているけれど、学校でのリアルな繋がりを求めないので友達が少ないというのは、果たしてそれでいいのだろうかと思慮ところではあります。
- ( 教育長職務代理者 ) ラインやメッセージアプリのやりとりはできるけれど、電話が苦手な子が多いという話も聞きます。
- ( 学 校 教 育 課 長 ) 私は電話で話したほうが早いと思いますが、若者はこちらがラインを送信すると話すスピードぐらいの勢いですぐ返信を返してきます。
- ( 教育長職務代理者 ) ラインではなく、ラインを返す要領で電話で話せばいいのにと思慮ますが、今の若者はそうではないです。
- ( 学 校 教 育 課 長 ) 今いじめ等、先生方がしっかりと見ているので細かいことでも報告が上がってきます。SNS上で、言葉の誤解が生じて、いじめとして件数が上がってしまうのは、いじめられたと感じる生徒が、そのことを先生には言うけれど、相手に直接自分の辛い気持ちについて言えない状況があるのかもしれない。本人同士での解決は無理なのかな？と気になるところではあります。

- ( 教育長職務代理者 ) 郷土愛にも関わってくるかと思いますが、ステップアップを目指し一旦ふるさとから離れたとき、またふるさとに帰ってきたいと思えるような何かがあるのか。子どものうちに「魚沼市は面白いし良かった。」と思える何か魅力があれば、帰ってくる要素にもなると思いますが、つまらないとなれば戻ってくる気持ちにはなれないと思います。面白いからやりたいという場がないと難しいと思います。そういう視点も入れていかないと愛着を感じ希望を持てるまちと掲げても、「愛着って何だろう。」となると思います。愛着とは、「大切にしたい、手放したくない思い入れ」等の意味になるそうです。
- 魅力ある学校づくりの授業づくりでも、そのように感じられる何かしらのアクセスやプログラム等があればいいと感じます。
- ( 学校教育課長 ) 不登校傾向の子にはフラワールームをつくってありますし各校に別室と保健室があります。不登校の生徒が増えてはいますが、学校に通っている生徒数が圧倒的に多いのですが、どうしても不登校生徒に目がいてしまいます。学級づくり事業で新温かい学級づくりを、10年ぐらいしているのですが、今その事業の刷新を検討しています。魅力的な学校というのは学級作りよりもみんなが来なくなる学校、そこに魅力を持たせないと駄目ではないのかと考えています。目的は給食やおしゃべりでもいいのですが、学校に魅力を感じていない子たちが何に魅力を感じるのか考えていきたいと思えます。
- ( 教育長職務代理者 ) 「授業がつまらないし嫌だ。」と話している子たちがいて、勉強が解らないのかと思いきや、簡単すぎるとのことでした。
- ( 学校教育課長 ) 魚沼市は学力が低いということで、先生方は勉強が解らない子に目がいてしまい、そちらに合わせた授業をしているのかもしれないです。
- ( 教育長職務代理者 ) 学力が高い子は、授業にストレスを感じているのではないかと思います。
- ( 委員 ) 習熟度別の対応を学校側が考えるとなると、どうしても個別対応をするしかなくなると思います。
- ( 教育長職務代理者 ) 何か良い方法はないのかと思います。
- ( 委員 ) 概念を変えて例えば「2年生だけ苦手な部分だけ1年生の所に行って勉強する。」等、そのようにできればいいのですが。掛け算ができない3年4年ぐらいの子がいたとして、そこに戻って授業をするとなると既に理解している子はつまらないだろうし授業が詰まってしまうので、できる子はタブレットでどんどん先の内容を学習していくという仕組みしかないかもしれません。
- ( 教育長職務代理者 ) そういった自由さで学習できれば、集中できて時間があつという間に過ぎるのかもしれませんが。授業はみんなですということになっているので、難しいかもしれませんが。  
夢や希望にこういったことも関係しているのではないのかと思ったのですが、夢や希望を持てるように情報発信、情報提供をしていくことも必要だと思いました。  
他にいかがでしょうか。
- ( 委員 ) 子どもたちは生まれた地域の学校に入学し決められたクラスで、そこで仲良くするように言われます。近所で小さい頃は遊んだりしていても、小学生、中学生になって気が合わなくなる人間関係もあります。私たち大人も、職場の人全員と気が合うわけではないけれど、ある程度の折り合いをつけて一緒に仕事しています。全員と友達になりなさいと言われたら、学校が辛いと感じる子もいるかと思えます。「クラス全員と仲良くしなさい」というより、同じ係になったとき等には、その人と協力して仕事をするんだという社会の仕組みを教えていくことも大事なのではないかと思います。
- ( 教育長職務代理者 ) みんな仲良くの時代ではなくなってきたし、それが本当に苦痛な子もいると思います。少人数の場合は大変だと思いますが、割り切りや妥協の経験も大切なのかなと感じます。

- ( 委 員 ) 修学旅行等期間限定で、同じ班になったときは、同じ班の人と協力して行動するといった経験が大事なのではないかと思います。
- ( 教育長職務代理者 ) その経験で、ある程度誰とでもやり取りができる人が育つのではないかと思います。
- ( 学 校 教 育 課 長 ) 何回か学校訪問をして主体的対話的授業を見学して、先生が「みんなで相談してみて」という場面がありました。中には苦手な子と同じグループになる時もあるけれど、協力して課題に取り組む等、それを繰り返して訓練を積むとこともできるかと思っています。
- ( 委 員 ) 私が子どものころは、女子は女子同士で話している感じでしたが、今は本当に男女関係なく一緒に話をしています。それは今の環境や取り組みの成果だと思います。
- ( 教育長職務代理者 ) 対応の練習については、今後の人間関係を構築する目的でやっていることを教えたほうが良いと思います。子ども側からしても意識して練習するのは、何となくやるのでは違いますし、それを経験した事によって今後の自信につながれば良いと思います。そして、家庭の中でも声かけ、励まし、称賛、対話を意識することが大切だと思います。
- ほかに何かありますでしょうか。なければ次は生涯学習についていかがでしょうか。
- 私からいいでしょうか。
- 読書活動の推進と習慣の定着を図るについてですが、これについて親はどうなのでしょう。
- 昔はブックスタートがありました。今でも継続されているとは思いますが、はたしてそれが活用されているのでしょうか。子どもが借りてきた本を親が読んで聞かせる習慣はあるのでしょうか。親と一緒に本を読むということを入れてもいいのではないかと思います。
- 以前は、学校で朝読書の習慣がありました。
- ( 学 校 教 育 課 長 ) 今でもしている学校もあるかもしれませんが、全部がやっつるわけではないと思います。
- ( 教育長職務代理者 ) やはり読む習慣は大事だと感じます。小さい時に活字を好きになる子もいるので、学校ばかりに任せるのではなく自宅で親が読み聞かせをしてあげることも必要かと思っています。
- ( 生 涯 学 習 課 長 ) ブックスタートは生後10か月ですが、令和5年度から小学6年生にセカンドブックプレゼントを始めました。読書離れしている子どもたちに、改めて読書の見直しをさせるきっかけとして、今後も継続していこうと考えております。親が仕事で遅かったりする場合、家に帰って読書をしてほしいと思うのですが、親の目がなければゲームへの興味が湧いているようなので、どのように読書へのきっかけや習慣づくりをするかが課題です。そういった意味でも施策を出して、今後も引き続き検討しながらきっかけづくりを考えていかなければならないと思っています。
- ( 教育長職務代理者 ) やはり本に触れる習慣が大事だと思います。今は、子どもが帰ってきて音読をしたら親がカードにチェックをする音読カードはありますか。
- ( 学 校 教 育 課 長 ) 音読の宿題があるという話は聞きます。
- ( 教育長職務代理者 ) 音読カードが負担という声が多いと、やらなくなってしまうのかと思いますが、何かいい方法を考えて子どもたちが本と触れ合うきっかけをつくっていったらと思います。
- ( 生 涯 学 習 課 長 ) 「ここいら」が完成したので、この場所を起点にして、本に触れるきっかけを作ることができればと思います。
- ( 委 員 ) 図書館に行くスタンプを押してもらえて、沢山貯まると特典がある等いいのではないかと思います。

- ( 教育長職務代理者 )      そういった何かお楽しみがあれば違ってくるかもしれません。  
ほかにありますか。  
続いて、文化、スポーツについていかがでしょうか。  
伝統芸能は北中学校や堀之内中学校がしていて、今後も継承していけるのかと思ますが、いかがでしょうか。
- ( 生涯学習課長 )      今、各小中学校で何かしらの伝統芸能を習っていますが、伝統芸能を継承する団体の方々が高齢化しています。各団体が同じ状況で20から40代の中間層が空洞化しており、今後どうしていくかが課題です。子どもたちには高齢者の方々が教えているのですが、その子どもたちが成人して、地元を離れることも多々ありますし、地元に住む中間層の人たちも、子どものころ伝統芸能を経験したからといって、その団体には入らないという状況です。
- ( 教育長職務代理者 )      9ページの「地域の固有の宝として」という言葉がありますが、「宝」と思ってもらえているか気になります。そのように思ってもらえるかを見直す学習の機会を提供することも必要だと思います。
- ( 委 員 )      私は50代ですが、自分が子どもの頃今の子どもたちがしている伝統芸能をやりませんでした。。自分（親）がしていないから興味がなし、やらない。そして団体にも入らない。盆踊りくらいしか覚えていません。
- ( 教育長職務代理者 )      最近盆踊りは生歌を歌える人がいなくて録音のところもあるようなので、昔のように歌える人がいたらいいなと思います。
- ( 生涯学習課長 )      太鼓については若手がやっている地域もありますので、このまま継承者になって欲しいと願っていますが、育成に携わってくれる中間層の継承者が少ないというのが課題です。
- ( 教育長職務代理者 )      地域の宝という視点も育てていかなければならないのではないかと思います。伝統芸能を無理にやらされたという気持ちでいると、思い出としては語れるだろうけれど、実際それを伝承していきたいかといったら、どうなのかと思います。
- ( 学校教育課長 )      学校での総合学習の時間にヨイヨサ講師は踊りを教えるだけで、歌については教えないのでしょうか。
- ( 委 員 )      北中学校では、講師がいて歌についても教えています。
- ( 教育長職務代理者 )      地域によって歌詞が違いますよね。
- ( 委 員 )      地域によって違うようです。
- ( 委 員 )      広神芸能保存会が教えて、広神芸能祭のときに中学生が歌っていました。
- ( 教育長職務代理者 )      伝統芸能を継承していくうえで歌、踊り、太鼓等一通り経験するのは良いと思います。  
歌も良いと思います。盆踊りの止め時も、いきなり踊りが終わるのではなく、歌い手が場の雰囲気を見ながら声掛けしてだんだん終わらせていくのが良かったです。歌も残してもらいたいです。芸術文化活動のなかにそういったことも含め入れてもらったらいいのかと思います。  
ほかにいかがでしょうか。  
広神に歴史資料館ができましたがどのような感じでしょうか。
- ( 生涯学習課長 )      歴史資料館は開館したばかりでコアな方たちが来てくださっていますが来場数が少ない現状です。子どもたちも学校行事や授業としては来館してくれるのですが、家族連れがあまり見受けられないのでその辺は残念です。ただ地域の歴史資料館がなかったのも、学校での学習で使ってもらえればありがたいと思います。そしてコアな方たちだけではなく、市民から1回でも来館していただき、魚沼の歴史を感じて欲しいですし、来場者を増やせるようにと考えています。

- ( 教育長職務代理者 ) 今の歴史資料館だと、なかなか来場者を増やすのは難しいと思います。他の歴史博物館だと、オリジナルグッズの販売や、勾玉を作る等の体験型イベント、カフェスペースなど、資料館のほかにも興味を持てる楽しみがあれば入場者も増えるかもしれないので、違う面からも考えていく必要があると思います。
- ( 生涯学習課長 ) 今、魚沼市を含めた5市1町の自治体が集まった信濃川火災街道連携協議会が構成されていて、遺跡等が日本遺産に認定されています。日本遺産認定を継続していくために、オリジナルグッズや体験コースもつくるといった、インバウンドも視野に入れた作戦と計画を立てています。
- ( 教育長職務代理者 ) 十日町市には、土器を見るだけではなくグッズ集めを目的に訪れる人がいるそうです。勾玉体験等いろいろな楽しみがあると来場者が増えるかもしれません。
- ( 生涯学習課長 ) 今はまだ都合できていないのですが、来場者が体験できる場所を作っています。学芸員が作業しているところを見る場所と自分が土器の接合等体験できる場所があってそれを展開していきたいと考えています。
- ( 委 員 ) 常設のほかに企画展ができるようなスペースはあるのですか。
- ( 生涯学習課長 ) まだ使えないのですが、そういったスペースはあります。今後すべて整備されてから資料館がきちんと回っていくようになると思います。
- ( 教育長職務代理者 ) 常設のほかに企画展を開催すれば1回ではなく再度の来場者も増えるかもしれないので、いろいろしてみたらいいと思います。  
スポーツに関しては誰もが気軽に参加できる環境づくりということですがいかがでしょうか。
- ( 生涯学習課長 ) スポーツ離れや健康増進のなかで、横の繋がりが大事だと思います。介護福祉課の若返りトレーニングとも連携しながら、健康寿命を長くできるように引き続き取り組みを進めていきたいと考えています。
- ( 教育長職務代理者 ) 世代間交流ができるような競技やスポーツの場を作ってもらえたらいいと思います。  
他にいかがでしょうか。  
それでは次に子育てについてですが、魚沼は「子育て日本一を目指す」と言っていますが、「日本一」とは、どういうことですか。
- ( 子 ども 課 長 ) 「子育て日本一」という定義はないので、住んでいる方、子育てしている方が、ここが一番だと思えば日本一ということなのではないでしょうか。
- ( 教育長職務代理者 ) 市外に行くと「魚沼市は日本一を目指してますからね。」と言われることがありましたので聞きました。
- ( 教育長職務代理者 ) ほかに質疑はありませんか。
- ( 委 員 ) (「ありません」の声あり)
- ( 教育長職務代理者 ) 質疑なしと認めます。  
協議事項 について、本案は原案のとおり承認することに異議ありませんか。
- ( 全 委 員 ) 「異議なし」
- ( 教育長職務代理者 ) 異議なしと認めます。よって協議事項 は原案のとおり承認することとします。

### 日程第3 その他

#### ①その他

- ( 教育長職務代理者 ) 日程第3、その他、①その他

- ( 教育長職務代理者 )      その他事項でありましたら、お願いします。
- ( 学 校 教 育 課 長 )      事務局からはありません。

## ②今後の会議日程

- ( 教育長職務代理者 )      令和7年第10回定例会については、10月15日、午後1時30分から本庁舎3階305会議室で開催することとします。
- ( 教育長職務代理者 )      総合教育会議については、同日、午後3時00分から本庁舎3階302会議室で開催することとします。
- ( 教育長職務代理者 )      それでは以上で②今後の会議日程を終了します。
- ( 教育長職務代理者 )      以上で日程を終了することとし、本日の委員会を閉会といたします。

終了時刻      午後      2      時      30      分

以上の記録は、書記が整えたものであるが、その正確であることを証して署名する。

教      育      長

会議録署名委員